参考資料

学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査結果について（概要）

令和４年１１月３０日
内閣府

就職・採用活動時期に関する認識

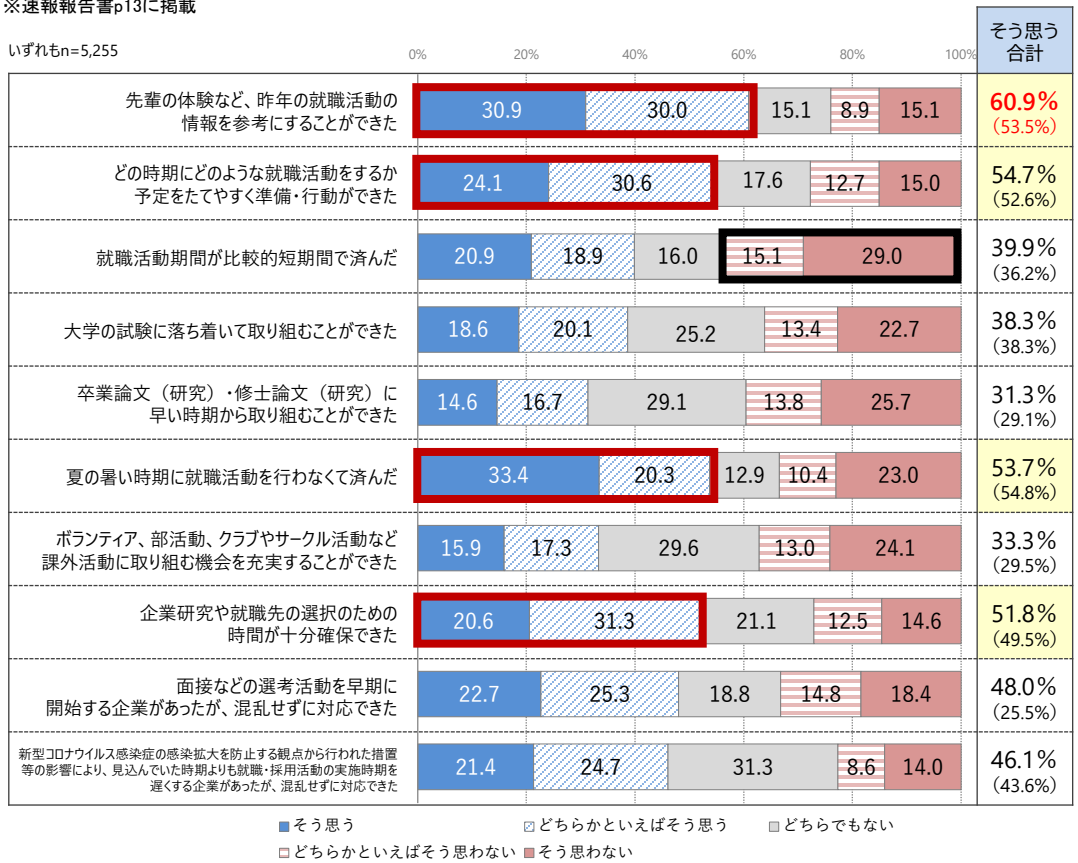
- 内閣府では、就職・採用活動の円滑な実施及び若者の安定的な雇用に資することを目的として、**就職・採用活動に関する学生の意識・行動等の実態について調査**を実施。（2022年度調査の有効回答数は5,652名（大学4年生：4,199名、大学院2年生：1,453名））
- 2022年度の就職活動時期が、昨年度と同じ時期であることについて、約５割の学生が「**昨年の就職活動の情報を参考にすることができた**」、「**予定をたてやすく準備・行動ができた**」、「**夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ**」、「**企業研究や就職先の選択のための時間が十分確保できた**」と回答、約4割は「就職活動が比較的短時間で済んだ」に対し「そう思わない」と回答。
- 就活ルール（広報活動3月、採用選考活動6月、正式内定10月）について、いずれの段階に対しても「**ルールは必要**」**とする人は約７割**。特に、「正式内定は10月1日」に対して、「**ルールは必要であり、現在の開始時期がよい**」**との回答の割合が最も高い。**

就職・採用活動時期に関する認識

※速報報告書p13に掲載

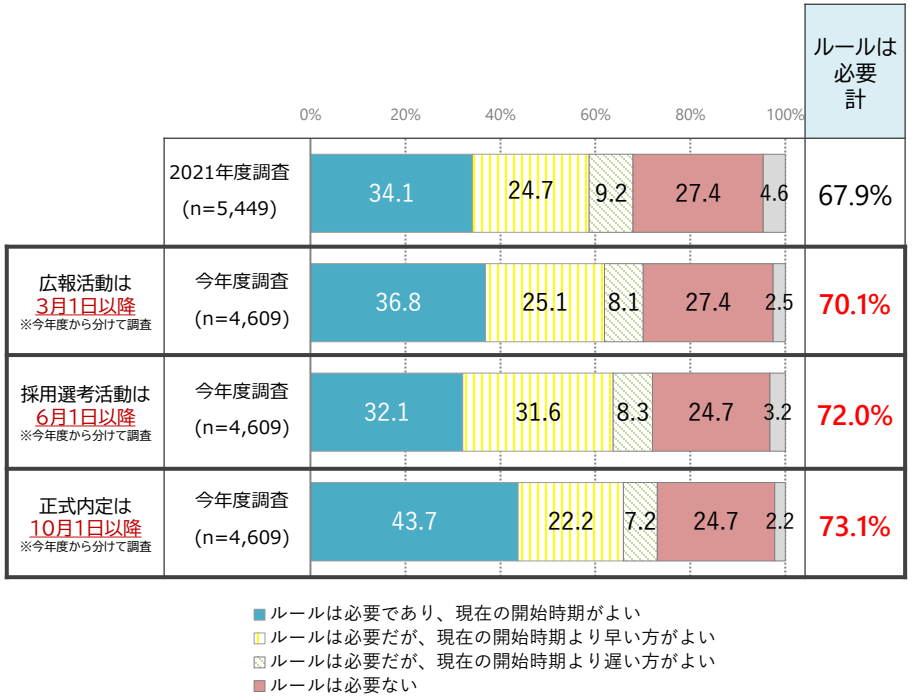
※かっこ内は昨年度の結果

いずれもn=5,255



就職・採用活動時期（就活ルール）に関する認識

※速報報告書p14に掲載



企業説明会やセミナーへの参加時期

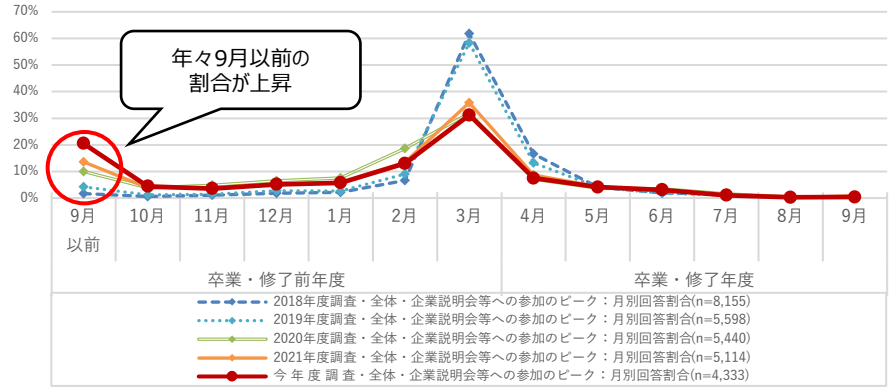
- **企業説明会等への参加時期（ピーク）**は、昨年度と比べ、**9月以前に参加したとする回答割合が上昇**し、**早期化は進行している**傾向。
- **「採用を目的とした※」企業説明会等への参加（ピーク）が、9月以前とする回答割合は、7.7％**（昨年は3.6％）。

※採用を目的としない説明会等（就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等）は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を実施。

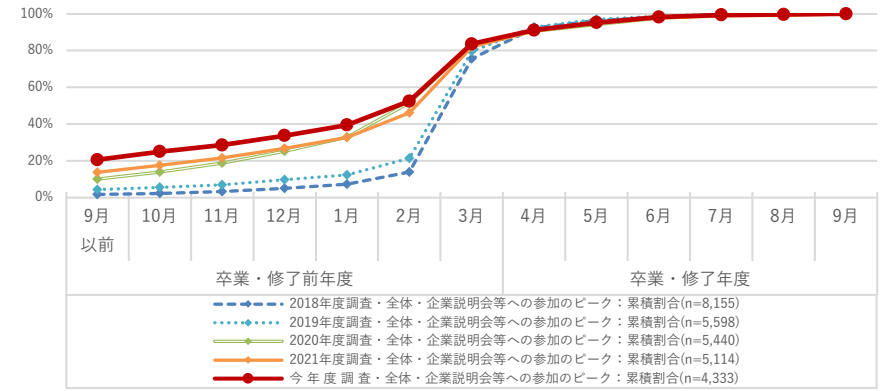
企業説明会やセミナー等へ参加した時期（ピーク）

※速報報告書p41に掲載

月別回答割合



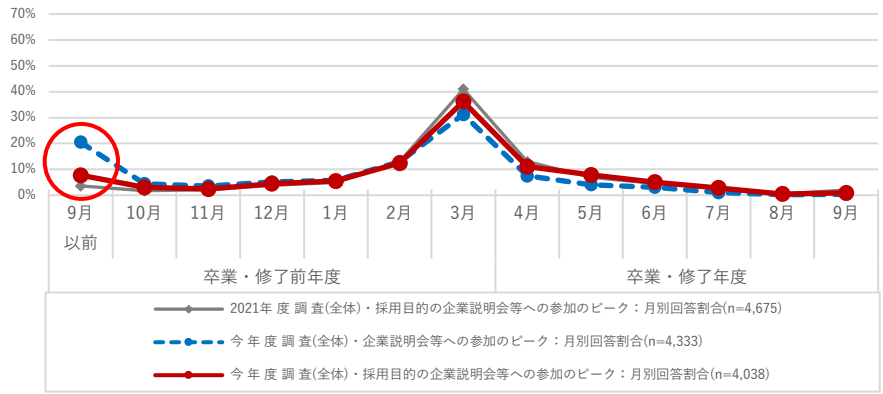
累計割合



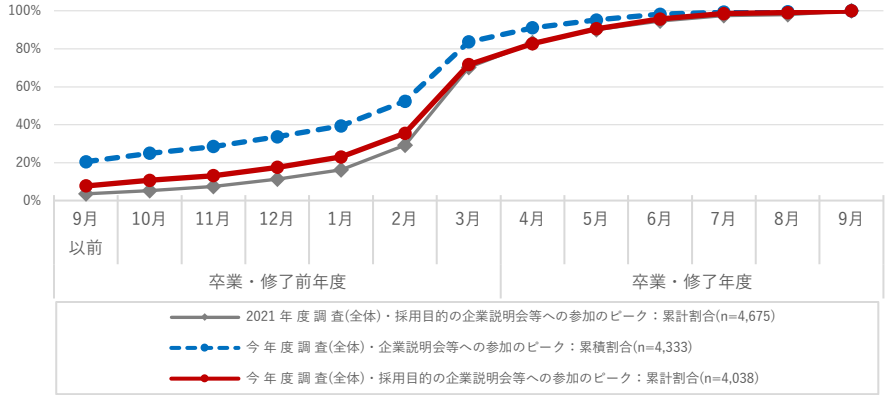
「採用を目的とした」企業説明会やセミナー等へ参加した時期（ピーク）

※速報報告書p75に掲載

月別回答割合



累計割合



採用面接の実施時期

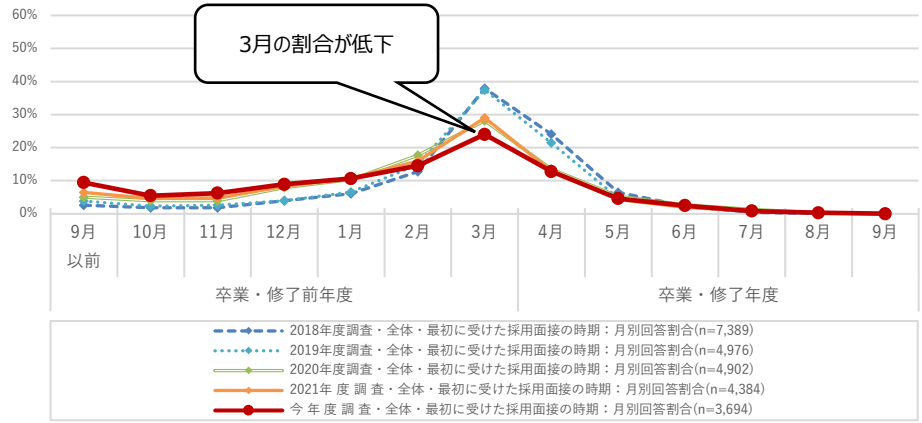
- **最初に採用面接を受けた時期**は、昨年度と比べ、**9月以前に参加したとする回答割合がやや上昇**し、**3月の割合は低下**。累計で見ると、**4月までに約9割の学生が面接**。
- **採用面接のピーク時期**は、過去調査と同様に**4月の割合が最も高い。累計で見ると、昨年同様の傾向。**

採用面接を受けた時期（最初）

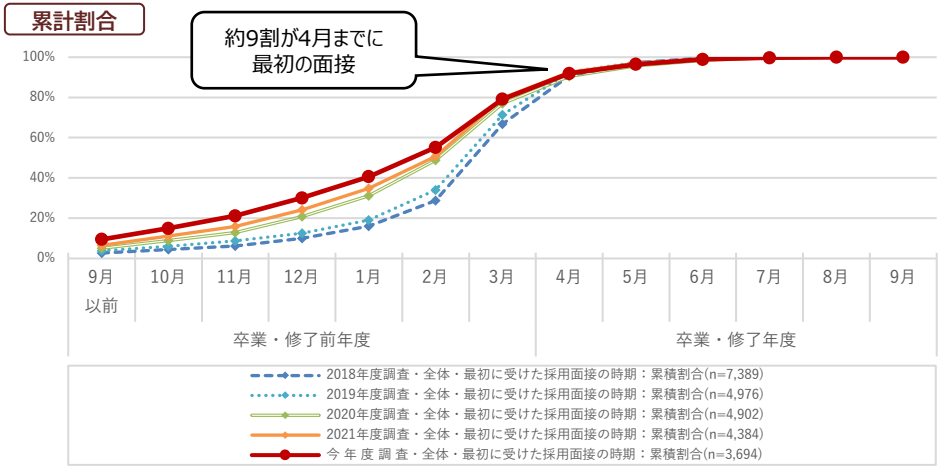
※速報報告書p51に掲載

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累計割合

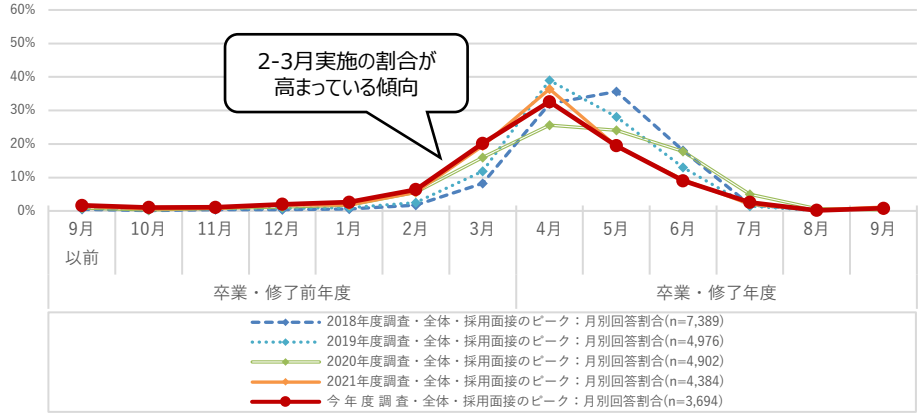


採用面接を受けた時期（ピーク）

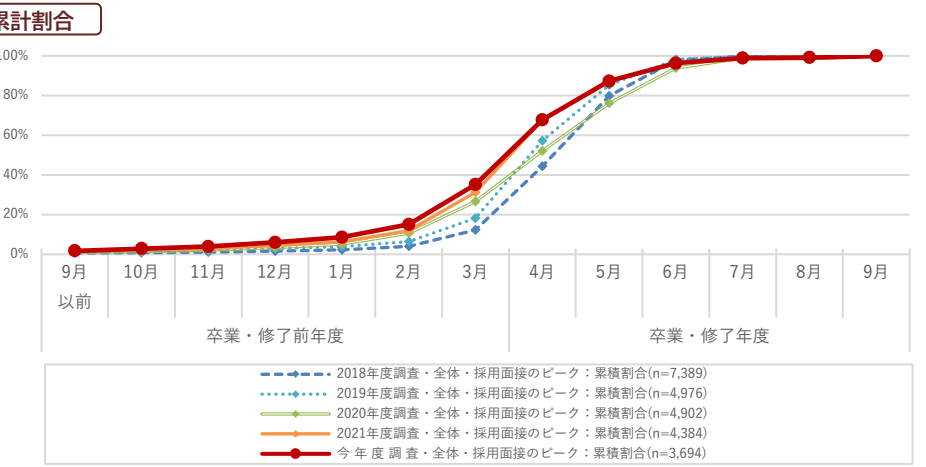
※速報報告書p51に掲載

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累計割合



内々定を受けた時期

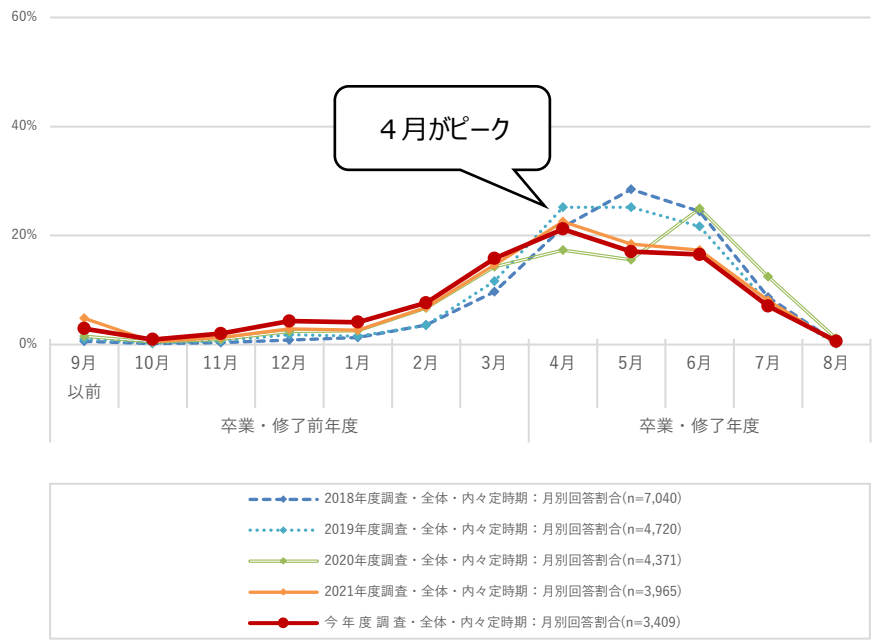
- **内々定を受けた時期**は、概ね昨年度と同様だが**趨勢的に12月から３月までが高まっている。**
- 累計では**６月までに約９割が最初に内々定を受けている。**

内々定を受けた時期（最初）

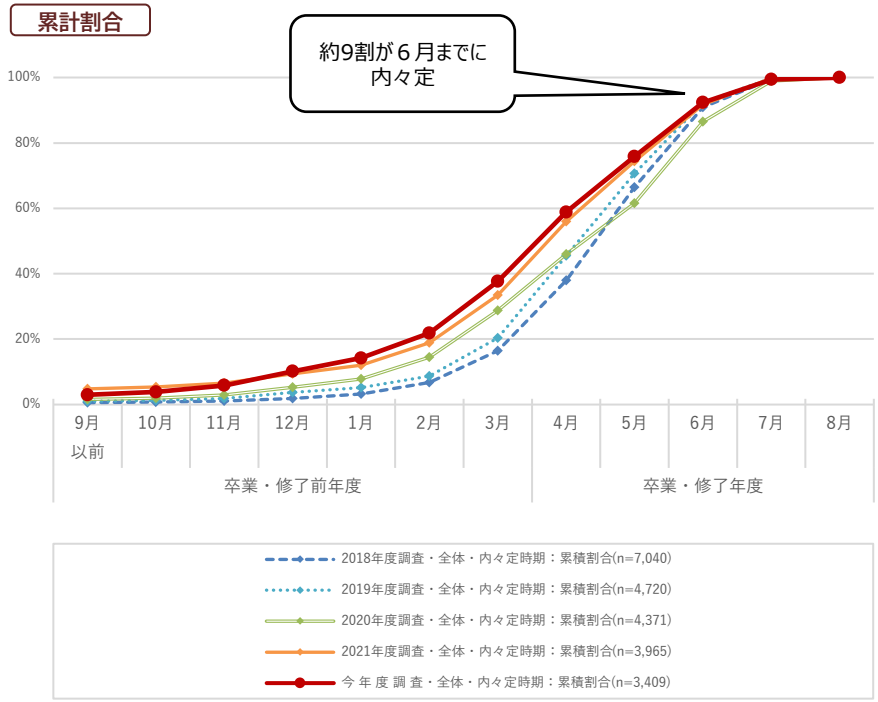
※速報報告書p57に掲載

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累計割合



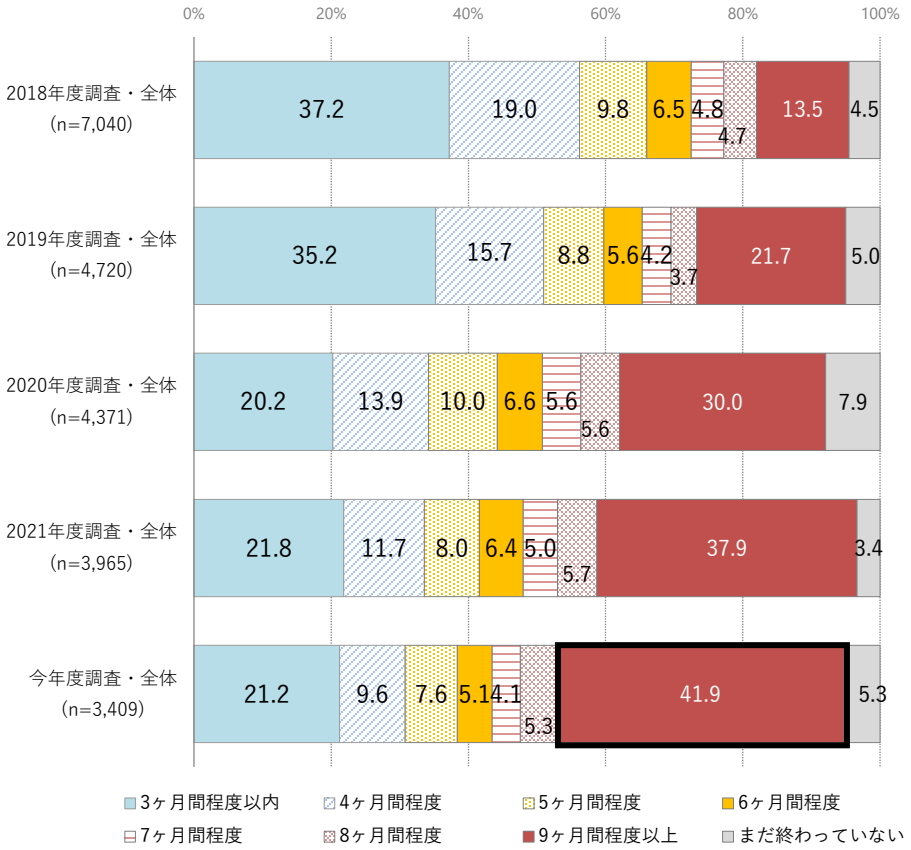
就職活動に要する期間、学修時間の確保

- **2022年度の就職活動に要する期間**は、「9ヶ月間程度以上」の割合が約4割と最も高く、**年々その割合は高まってきており、長期化の傾向。**
- 学修時間の確保については、**「卒業・修了前年度９月～１１月」、「卒業・修了前年度１２月～２月」で「確保できた」との回答が、昨年度より４％以上低下。**

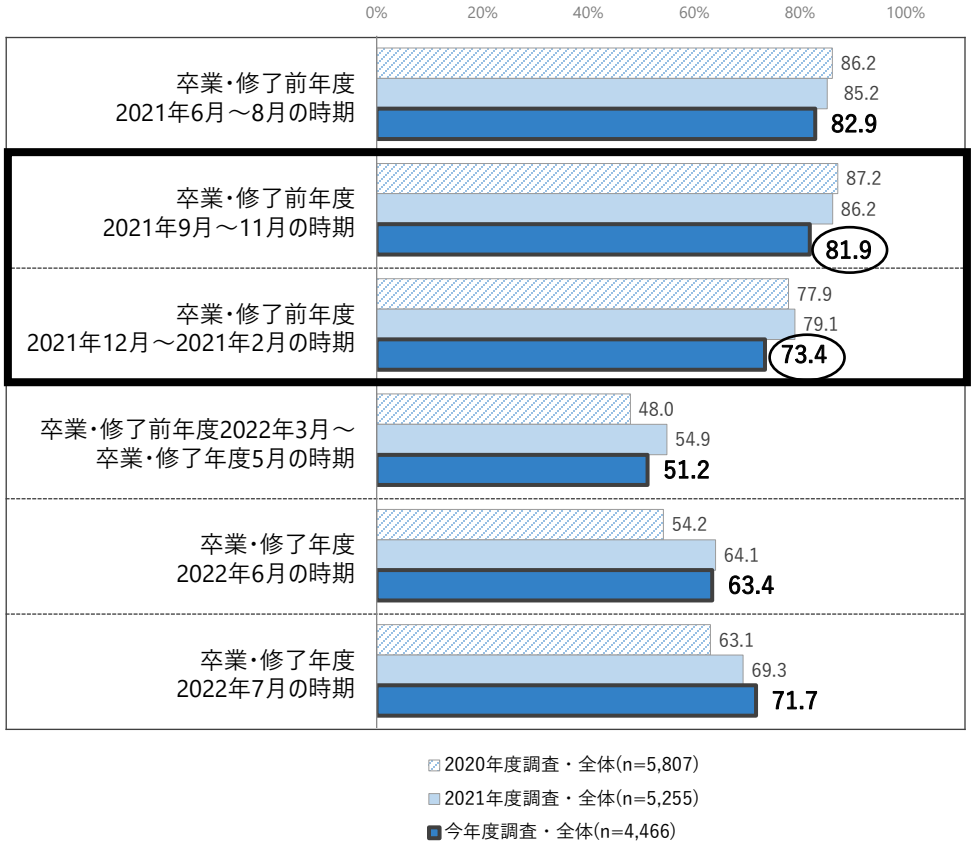
就職活動の始まりから終わりまでの期間

※速報報告書p73に掲載

※公務員・教職員志望者除く



就職活動と学修時間の確保

※速報報告書p16に掲載

時期別の学修時間について、「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合